

教材事例分析

騎西町立騎西小学校 小林秀行

行

1 「小学校学習指導要領解説 社会編」における「法教育」の内容

「法教育」を視点に入れた系統的な小学校社会科カリキュラムを開発するために「小学校学習指導要領解説 社会編」（以下、学習指導要領と略記）における「法教育」の内容を分析する。以下の表Ⅳ－1は学習指導要領における「法教育」の内容を抽出したものである。

表1 学習指導要領における「法教育」の内容

学 年	目 標	内 容
3・4年	地域の産業や消費生活の様子、人々の健康な生活や安全を守るための諸活動について理解できるようにし、地域社会の一員としての自覚をもつようにする。	<ul style="list-style-type: none"> ○主な公共施設などの場所と働き ・警察署、裁判所、検察庁などの公共施設の働きを理解する。 ○人々の安全を守るための関係機関の働き ・関係の諸機関が相互に連絡を取り合いながら緊急に対処する体制をとっていること。 ・交通事故と盗難を取り上げるようにしているのは、地域の人々の生命、身体、財産など守るために活動している警察の働きを理解できるようにする。
5年	我が国の国土の様子について理解できるようにし、環境の保全の重要性について関心を深めるようにするとともに、国土に対する愛情を育てるようにする。	<ul style="list-style-type: none"> ○公害から国民の健康や生活環境を守ることの大切さ ・産業がもたらした公害の多くは、関係の諸機関をはじめ人々の努力によって改善されてきたことを理解できるようにする。（環境基本法）
6年	日常生活における政治の働きと我が国の政治の考え方及び我が国と関係の深い国の生活や国際社会における我が国の役割を理解できるようにし、平和を願う日本人として世界の国々の人々と共に生きていくことが大切であることを自覚できるようにする。	<ul style="list-style-type: none"> ○国民主権と関連付けて政治は国民生活の安定と向上をはかるために大切な働きをしていること ・国会は、国権の最高機関であり、国の唯一の立法機関として、法律の制定や予算の議決、条約の承認など大切な働きをしている。 ・国会など議事における審議の手続きを調べるようにすることが考えられる。 ・国会との関連で、行政権の属する内閣や司法権を有する裁判所の働きなどについて、それらの基本的な仕組みや主な仕事について調べるようにすることも考えられる。 ○現在の我が国の民主政治は日本国憲法の基本的な考え方に基づいていることを考えるようにする。 ・日本国憲法に定められている国家の理念、天皇の地位、国民としての権利および義務など国家や国民生活の基本となる事柄を調べる。 ・政治の制度や機構については、三権相互の関連や三権それぞれの組織などについて基本的な事項にとどめるようにする。

文部省『小学校学習指導要領解説 社会編』日本文教出版、1999.をもとに筆者作成
 表1のとおり、学習指導要領の内容は系統的な「法教育」の内容になっていない。例えば、3・4年の学習では、「警察署、裁判所、検察庁などの公共施設の働きを理解する」とあるが、実際に授業では裁判所、検察庁などの働きは扱わず、警察署を事例にすることが多い。また、働く人々の工夫や努力を考えさせることでとどまっておき、法に関する働きや役割については学習されない。5年の学習においても、環境基本法に関する公害問題が事例に出されるが、関係の諸機関の人々の努力によって改善されてきたことを理解できることがねらいであり、法に關しての論争問題を考えさせる授業はほとんどなされていない。

6年では、政治単位の中で、立法府、行政府、司法府についての制度理解にとどまっておき、具体的な法的な機能理解の学習が展開されていない。実際に「政治の制度や機構については、三権相互の関連や三権それぞれの組織などについて基本的な事項にとどめるようにする」とあるように政治の制度や機構に深入りできないのが現状である。司法制度については、具体的な記述はされていない。

一方、中学校社会科公民分野の学習指導要領の内容を分析すると、「現代社会と私たちの生活」では、「社会生における取り決めの重要性やそれを守ることの意義及び個人の責任などに

気付かせる」「社会生活を円滑にするために互いの合意に基づいてルールがつくられていること」と示されているようにルールに関する学習が展開されている。「現代の民主政治とこれからの社会」では、「人間の尊重についての考え方を、基本的人権を中心に深めさせるとともに、法の意義に着目させ、民主的な社会生活を営むためには、法に基づく政治が大切であることを理解させ、我が国の政治が日本国憲法に基づいて行われていることの意義について考えさせる。また、「日本国憲法が基本的人権の尊重・・・を基本的原則としていること」「法に基づく公正な裁判の保障があることについて理解させる」と示され、法の意義を考えさせ、司法制度についても授業構成されている。

以上のように、現行の学習指導要領の内容を分析した結果、小学校社会科と中学校公民分野における「法教育」に関連する内容は系統的になっていない。そこで「法教育」に関連する内容が小学校社会科と中学校公民分野で系統的にするために“Primary”と“VOICE”で重要であったルールや法の意義と機能を盛り込む必要がある。小学校の道徳には、1年～4年で「約束やきまりを守る」5、6年で「法やきまりを守る」とあるようにきまりを遵守することがねらいとなっているが、小学校社会科にはルールや法の遵守をねらいとするのではなく、ルールや法の意義と機能を理解させるカリキュラムを開発することが課題である。

2 小学校社会科カリキュラムの開発案

ここでは“Primary”と“VOICE”を手がかりにして、現行の学習指導要領の各学年の内容にできるだけ沿ったルールや法の意義と機能を理解させる小学校社会科カリキュラムの開発案を提示する。

表2 ルールや法の意義と機能を理解させる小学校社会科カリキュラム

学年	目 標	内 容
1・2年 (生活科)	身の回りにはいろいろなルールがあることが分かり、その意義や働きに気づくことができる。	・クラスのルール、学校のルール、家族のルール、郵便局のルール、交通のルール、お祭りのルール、お店のルールなど。
3・4年	身近な地域には、いろいろなルールや法があり、その意義と働きを理解することができる。	・警察署、裁判所、検察庁などの公共施設の働きとルール、地域の人々の生産や販売とルール、地域の人々にとって必要な飲料水、電気、ガスの確保や廃棄物の処理とルール、地域社会における災害や事故から人々の安全を守るための関係諸機関の働きとルール、地域に残る年中行事とルール、地域の発展に尽くした先人の働きとルール
5年	産業、国土の学習に関するルールや法について調べ、その意義と機能を理解することができる。	・農業、水産業、工業、放送、新聞、電信電話に関する法、我が国の領土と近隣の諸国に関する法、農業問題、工業問題、環境問題に関する法
6年	歴史学習で扱う法の意義や機能を理解できる。立憲民主主義における法と統治機構について調べ、その意義と機能を理解できる。	・歴史学習で扱う法（17条の憲法や武家諸法度など） ・日本国憲法の意義 ・三権分立と法 ・裁判所と法 ・裁判員制度

(筆者作成)

表2で示したとおり、1・2年の生活科では、「身の回りにはいろいろなルールがあることが分かり、その働きに気づくことができる」という目標を設定し、クラスのルール、学校のルール、家族のルール、郵便局のルール、交通のルール、お祭りのルール、お店のルールなどについての働きに気づかせる。

3・4年では、「身近な地域には、いろいろなルールや法があり、その意義と働きを理解することができる」という目標を設定し、警察署、裁判所、検察庁などの公共施設の働きとルール、地域の人々の生産や販売とルール、地域の人々にとって必要な飲料水、電気、ガスの確保や廃棄物の処理とルール、地域社会における災害や事故から人々の安全を守るための関係諸機関の働きとルール、地域に残る年中行事とルール、地域の発展に尽くした先人の働きとルールを調べ、その意義と働きを理解させる。

5年では、「産業、国土の学習に関するルールや法について調べ、その意義と機能を理解することができる」という目標を設定し、農業、水産業、工業、放送、新聞、電信電話に関する法、我が国の領土と近隣の諸国に関する法、農業問題、工業問題、環境問題に関する法について調べ、その意義と機能を理解させる。

6年では、「歴史学習で扱う法の意義や機能を理解できる。立憲民主主義におけるルールや法について調べ、その意義と機能を理解できる」という目標を設定し、歴史学習で扱う法（17条の憲法や武家諸法度など）や日本国憲法の意義、三権分立と法、裁判所と法、裁判員制度について調べ、その意義と機能を理解させる。

以上のようなルールや法の意義と機能を理解させる系統的なカリキュラムに基づいて、「法

教育」が小学校社会科で実践される必要がある。しかし、ここで留意すべき点は、法律の条文や制度を覚える知識注入の授業ではなく、ルールや法の意義と機能を考え、そのルールや法が妥当なものであるかどうかを批判、吟味し、議論し合う授業が求められる。また、弁護士や司法書士などの法律実務家と連携した授業が必要になってくる。専門家の立場から、法の見方・考え方を教えていただくことで子どもたちは、さらに興味・関心をもって授業に取り組むことができる。そのためには“Primary”と“VOICE”のような単元構成、授業構成に基づいた授業開発が課題である。

3 “VOICE”の授業構成原理

これまでの事例分析から、“VOICE”の授業構成原理は、以下の三つの原理が指摘できる。第一は、「法的機能理解過程」である。単元2「紛争を調停すること」のレッスン2「ステップの学習」の導入部は紛争解決の意義と役割確認の段階、展開1は調停プロセスのステップ理解の段階、展開2は模擬調停の分析の段階、終結部は調停の理解確認の段階であり、調停の紛争解決機能を意図する授業構成になっている。単元5「行政府：法律を機能させること」のレッスン9「国の行政権力者：大統領」の導入部は大統領の役割把握の段階、展開1は大統領の条件と権限理解の段階、展開2は大統領の弾劾裁判理解の段階、終結部は大統領について理解確認の段階という大統領の機能理解を意図する授業構成になっている。このような「法的機能理解過程」を授業構成原理と位置づけることができる。

第二に、「法的意思決定過程」である。単元3「権利と安全のバランスをとるための協同学習」のレッスン5「セーレム魔女裁判」、単元4「立法府：法律を作る協同学習」のレッスン4「銃規制法に賛成か反対かの議論」、単元6「司法府：法律を解釈すること」レッスン9の「ティンカー対デモインの模擬裁判」の事例を分析したとおり、どれも学習過程が導入部は問題の把握の段階、展開1は問題の分析の段階、展開2は法的意思決定の段階、終結部はまとめる段階として構成されている。このような「法的意思決定過程」を授業構成原理と位置づけることができる。第三に「法的合意形成過程」である。単元1「クラスによる基礎を築くこと」のレッスン3「公園での乗り物は禁止」、単元2「紛争を調停すること」のレッスン3「少しの豆粒に価値がありますか」、単元7「一緒に行動を起こすこと：奉仕と学習」のレッスン1「サービスマーケティング・プロジェクト」の事例を分析したとおり、どれも学習過程が導入部は問題の把握の段階、展開1は問題の分析の段階、展開2は解決策の考察、終結部は法的合意形成の段階として構成されている。このような「法的合意形成過程」を授業構成原理と位置づけることができる。

以上のように“VOICE”は、「法的機能理解過程」、「法的意思決定過程」、「法的合意形成過程」から成り立っている。これらの授業構成原理の学習過程を組織化すると下の表3、表4、表5のようになる。

表3 法的機能理解過程（授業構成原理）

段階	学習過程	全体
導入部	紛争解決の意義と役割確認	法的機能理解過程
展開1	調停プロセスのステップ理解	
展開2	模擬調停の分析	
終結部	調停の理解確認	

(筆者作成)

表4 法的意思決定過程（授業構成原理）

段階	学習過程	全体
導入部	問題の把握	法的意思決定過程
展開1	問題の分析	
展開2	法的意思決定	
終結部	まとめ	

(筆者作成)

表5 法的合意形成過程（授業構成原理）

段階	学習過程	全体
導入部	問題の把握	法的合意形成過程
展開1	問題の分析	
展開2	解決策の考察	
終結部	法的合意形成	

(筆者作成)

4 “Primary”と“VOICE”の授業構成の系統性

本節は、“Primary”と“VOICE”の授業構成の系統性を明らかにする。

“Primary”と“VOICE”の授業構成の系統性は、次のようにまとめられる。

- ① “Primary”の法行動の基本概念習得を意図する授業構成は、“VOICE”の法的機能理解を意図する授業構成に系統立っている。例えば、ルールの概念習得の授業構成は、ルールの社会統制機能理解の授業構成へ、紛争解決の概念習得の授業構成は、調停の紛争解決機能理解と司法機関の紛争解決機能理解の授業構成へ、サービスの概念習得の授業構成は、サービスの社会改善機能理解の授業構成へと系統立っている。
- ② “Primary”の法的合意形成を意図する授業構成は、“VOICE”の法的合意形成を意図する授業構成に系統立っている。では、なぜ“Primary”には“VOICE”の法的意思決定を意図する授業構成に系統立った授業構成がないのか。それは、“Primary”では身近な学校生活や地域社

会レベルのルールづくりや取り決めを複数の当事者で合意形成する力を身につけることが求められていて、“VOICE”では法的合意形成だけではなくて、憲法、立法府、行政府、司法府という国家レベルでの法的葛藤問題についての法的判断力や法的意思決定力を身につけることがねらいにあるからである。

以上により、“Primary”の授業構成の内容知・方法知が基礎になって、“VOICE”の授業構成で応用され、市民的資質を系統的に育成できるように工夫されていることが明らかになった。

資料1 公民・政治ナショナルスタンダードに関連する“Primary”と“VOICE”の単元

関連単元	K-4 内容スタンダード
Primary 単元 1 VOICE 単元 1 単元 4 単元 6	I. 政府とは何か、また政府はどうあるべきか。 A. 政府とは何か。 1, 政府の定義 政府についての基本的な記述を提示できる必要がある。 ◇到達規準 ①家族、学校、地域社会及び国家における他者のためのルールや法を作成し、適用し、強化する人々や集団、そして、そのルールや法に関する議論を管理する人々や集団という点から政府を記述できる。例えば、 ・大人の家族構成員は、子どもたちのためのルールを作成し、適用し、強化する。また、そのルールに関する議論を管理する。 ・教師、校長及び教育委員会は、彼らの学校のためのルールや法を作成し、適用し、強化する。また、そのルールや法に関する議論を管理する。 ・市議会や市長は地域社会のためのルールや法を作成し、適用し、強化する。 ・州知事や州の立法府は、その州のルールと法を作成し、適用し、強化する。 ・部族政府はインディアンカントリーの部族構成員のためのルールと法を作成し、適用し、強化する。 ・連邦政府は国家のためのルールや法を作成し、適用し、強化する。 ・あらゆるレベルの裁判所は、法を適用し、議論を管理し、法に違反する人々を処罰する。
VOICE 単元 5	B. 政府の人間がルールや法律を作成し、適用し、強化し、それに関する論争を処理する権限は、どこから得られるか。 1, 権力と権威の定義 権威と権威のない権力との違いを説明すること、また、権威は、習慣や法、被統治者の合意から生じることを説明できる必要がある。 ◇到達基準 ①権力とは、ある事項や人物を指揮監督し、統制する能力であると説明できる。 ②権威とは、慣習、法及び統治者間の合意に基づいて、人々が使用する権利を持つ権力であると説明できる。 ・両親は、子どもの指揮監督と統制を行う権威を持っている。この権威は慣習と法の両方から生じている。 ・州知事は、法を実施し強化する権威を持っている。この権威は法と知事を選んだ人々の合意から生じている。 ③権威の事例を識別できる。例えば、学校のルールを作成する教師と学校管理者の権威、交通を指揮管理する交差点番の権威、軍隊に命令を出す大統領の権威など。 ④権威のない権力の事例を識別できる。例えば、年少の子どもたちのお昼御飯代を盗む近所の乱暴者や銀行強盗。
VOICE 単元 1	C. 政府はなぜ必要か。 1, 政府の必要性と目的 教室、学校、地域社会、州及び国家において、なぜ政府が必要であることを説明することや合衆国政府の基本的な目的について説明できる必要がある。 ◇到達基準 ①政府とルール・法が存在しない場合起こり得る結果を説明できる。 ・弱者よりも強者が有利になり、強者の利己的な利害関心に基づく行動が横行する。 ・人々は無秩序または暴力的になり、他者の生命、自由、財産を脅かすようになる。 ・人々は不安を感じ、将来設計が不可能になったり、他者がどのように行動するか予測ができなくなる。例えば、交通法規がなければ、人々は道のどちら側に車が通るのか予想できなくなるし、運転者が赤信号で止まるかさえわからなくなる。 ②合衆国政府の基本的な目的は個人の権利を保護し、共通の利益を増進させることになることを説明できる。

<p>VOICE 単元 4 単元 5</p>	<p>D. 政府が行う最も重要な事項は何か。 1, 政府の機能 学校、地域社会、州及び国家において政府が行っている主要事項の幾つかを説明することができる必要がある。 ◇到達基準 ①政府が行う主要な事項について記述できる。 ・学校の設立、健康サービスの提供、運転免許の用件に関する法の制定 ・学校の交差点番の提供、高速道路の建設と維持、予防接種計画の遂行に関する法の実施 ・交通や健康、子ども労働及び衛生に関する法を人が遵守するような法の強化 ・人々の中の議論が平和的に落ち着くような紛争の管理 ・国防の提供 ②単独では達成できない目標を達成するために人々が共同することを、政府はどのように可能にするのかを説明できる。</p>
<p>Primary 単元 1 VOICE 単元 1</p>	<p>E. ルールや法律の目的は何か。 1, ルールと法の目的 ルールや法についてや教室、学校、地域社会、州及び国家において、なぜルールや法が重要であるかについて説明できる必要がある。 ◇到達基準 ①以下の点で利用可能なルールと法について説明できる。 ・人々のなすべき行動様式の記述、例えば、学校に通い、宿題をすること。教室で話す前には手を挙げて、認められること。他者のプライバシーや財産を尊重すること。 ・秩序、予測可能性、安全の提供、例えば、人に交代を要求するルール、自動車は通りの右側を通行するよう要求する交通法規、人々を傷つけたり、財産を奪おうと欲する他者から人々を守る法など。 ・権利の保護、例えば、どのような宗教でも実践できる権利の保護、すべての子どもが無償の公教育を受ける平等な機会が与えられること。 ・利益の提供、例えば、学校、健康サービス、公共交通、高速道路及び空港を提供する法 ・負担や責任の割当、例えば、納税や国家の危機に際して軍役を遂行することを求める法 ・権威の中の人物の権力の制限、例えば、全ての子どもの公正な取り扱いを教師と学校管理者に要求する法、自分の子どもを両親が虐待しないようにする法</p>
<p>Primary 単元 1 VOICE 単元 1 単元 3 単元 4</p>	<p>F. ルールや法律をどのように評価することが可能か。 1, ルールや法を評価すること ルールや法を評価するために有効な規準について説明し、そうした評価にその規準を適用できる必要がある。 ◇到達基準 ①以下のことがどうであるのかを決定づけることによって、学校のルールや州法の長所と短所を識別できる。 ・その目的を達成するためにうまく構想されているかどうか。 ・理解可能性、すなわち、明確に記述され、目的が明白であるか。 ・遵守のしやすさ、すなわち不可能なことを要求してはいないか。 ・公正さ、すなわち、いかなる個人や集団に対しても偏って有利や不利になっていないか。 ・個人の権利を保護し、公共の利益を増進するように構想されているか。 ②これらの規準に合致するように学校のルールを作成できる。</p>
<p>VOICE 単元 3 単元 4</p>	<p>G. 制限のある政府と制限のない政府との違いは何か。 1, 制限のある政府と制限のない政府 制限のある政府と制限のない政府との基本的な違いについて説明できる必要がある。 ◇到達基準 ①次のことを説明できる。つまり、制限のある政府においては、権威の地位にあるすべての人々を含めて、あらゆるものが法に従わなければならない。これは合衆国の大統領でさえ当てはまる。 ②政府内の人物の権力を制限する法の事例をあげることができる。例えば、 ・両親や保護者以外に子どもの個人情報漏らすことを禁じる法律 ・宗教や政治的信念を理由として政府が人々を差別することを禁じる法律 ③以下のことを説明できる。すなわち、制限のない政府では、統治者の権力を効果的に統制することがなく、平和的法的手段によって統治者がたやすくそ</p>

	の地位を譲り渡すことがないこと、すなわち政府は独裁者によって運営されること。
VOICE 単元3 単元4	<p>H. 政府の権力に制限をつけることはなぜ重要か。</p> <p>1, 制限のある政府の重要性 自分たちの生活にとって、政府に制限を付けることは、どうして重要なのかについて説明することができる必要がある。</p> <p>◇到達基準</p> <p>①以下のような個人の権利を保護するために制限された政府が重要である理由を説明することができる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○個人的な権利（自分の友達を選ぶ権利、願うことを信じる権利、家庭でのプライベートを楽しむ権利、自分の選んだ宗教を実践する権利） ○政治的な権利（自分の意見を表明する権利、投票権者と会って交際する権利、不公平だと考える法律を変革するよう政府に要求する権利） ○経済的権利（望んだ種類の仕事を選択する権利、財産権）
VOICE単 元3 単元4	<p>II. アメリカ民主主義の基本的価値と原理は何か。</p> <p>A. アメリカ民主主義の最も重要な価値と原理は何か。</p> <p>1, 根本的な価値と原理 アメリカ民主主義の根本的な価値と原理の重要性について説明できる必要がある。</p> <p>◇到達基準</p> <p>①アメリカ民主主義の以下のような根本的価値が自分自身、学校、地域社会及び国家にとって重要であることを説明できる。（生命、自由、財産及び幸福追求の個人の権利、公共及び共通の利益、正義、機会の平等、多様性、信念、愛国心）</p> <p>②アメリカ民主主義の以下のような根本的原理が自分自身、学校、地域社会及び国家にとって重要であることを説明できる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・国民が主権者である。つまり、政府の権威の最終的な源泉は国民である。「私たち国民」が政府を創り出し、国民の権利を保護し、共通の利益を増進させるために制限された権力を与え、政府内の地位を譲り渡させ、政府を変革することを可能としている。 ・法によって制限された政府の権力 ・特定のルール、法律あるいは候補者に賛成または反対の直接投票を行うことによって、また地域社会や町の会議における投票を行うことによって国民は自分たちの権威を行使する。 ・法を作成し、適用し、強化するように、それに関する議論を管理するように選んだ代表者を通して、間接的に国民は権威を行使する。 ・決定は多数決のルールに基づいて行われるが、少数者の権利は保護される。 <p>③独立宣言、合衆国憲法前文、権利の章典、忠誠の宣誓、演説、歌、物語に表現されているような根本的な価値と原理を識別できる。</p>
VOICE 単元3 単元7	<p>B. アメリカの国民及び政府についてアメリカ国民が持っている重要な信念とは何か。</p> <p>1, アメリカ社会の顕著な特性 自分たち自身や政府について、アメリカ人が共有している重要な信念のいくつかを識別することができる必要がある。</p> <p>◇到達基準</p> <p>①アメリカ人が共有している以下の信念を記述できる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○個人の重要性。アメリカ人の次の信念を説明できる。 <ul style="list-style-type: none"> ・政府の主な目的は、生命、自由、財産そして幸福の追求への個人の権利を保護することである。 ・政府の別の重要な目的はよい共通を促進することである。 ・個人には、政治、宗教あるいは他の問題に関して異なる権利がある。 ・個人には、それらの仲間またはそれらの政府に処せられる恐れのないそれらの意見を表現する権利がある。 ・一つの個人の投票はもう一人と同じくらいに数える必要がある。 ○学校、地域社会、州、国家の重要性。 <ul style="list-style-type: none"> ・誰でも、自分の学校、地域社会、州そして国家の安全について関心を持っている必要がある。 ・人々は、学校、地域社会、州そして国家での生活の質を改善しようとする必要がある。 ・人々は、幸運でなく、必要、緊急あるいは自然災害の時に支援する他の人を助ける必要がある。 ○機会の平等と法の保護の平等 <ul style="list-style-type: none"> ・人々はみな、教育の中に機会均等に対する権利を持っている。 ・雇用、住宅、そして公園と運動場のような公共施設への等しい利用する

	<p>機会がある。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・人々にはみな、自分の見解を示し他のものを説得しようとするにより政治に参加する権利がある。18歳から全市民には投票する権利がある。 また、時間そして他の資格に会う市民には公職を捜す権利がある。 ・誰でも、等しく法律の目の中で扱われる権利を持っている。 <p>○法の尊重の重要性</p> <ul style="list-style-type: none"> ・政府高官を含む誰でも法律に従わなければならない。 ・人々には、不公平か愚かであると考え法律が平和的手段によって変更されることを理解するためにともに働く権利がある。 <p>○労働の重要性</p> <ul style="list-style-type: none"> ・労働は人の独立そして自尊心にとって重要である。 ・労働は、家族、地域社会、州そして国家の安全にとって重要である。 ・もし病気でなければ、大人は自活し、かつ扶養家族のために働く必要がある。 ・誠実な仕事はすべて尊敬にふさわしい。 <p>○ボランティア精神の重要性</p> <ul style="list-style-type: none"> ・人々は、家族、学校、地域社会、州、国家そして世界で他の人々を支援することを進んでする必要がある。 ・進んですることは、個々の満足や達成の源である。
<p>VOICE 単元 3</p>	<p>C. アメリカ国民が特定の価値、原理及び信念を共有することはなぜ重要か。</p> <p>1, アメリカ人のアイデンティティ アメリカ人が共有し支持している特定の価値・原理・信念の重要性について説明することができる必要がある。</p> <p>◇到達基準</p> <p>①アメリカ人は、民族性・人種・宗教・階級・言語・ジェンダー・国家の起源によってよりむしろ、共有された価値、原理、信念によって統合されていることを説明できる。</p> <p>②アメリカ民主主義を持続し改善するためには価値と原理と信念を共有することが重要であることを説明できる。</p> <p>③例えば、独立宣言、合衆国憲法、権利の章典、忠誠の宣誓のような、共有された価値、原理、信念を示している基本文書を識別できる。</p> <p>④アメリカ人が共有する価値や原理や信念を描写するために使用されるシンボルを識別し、その意味を説明できる。</p> <p>例えば、国旗、自由の女神、公正の像、アンクルサム、国璽、国歌、職務の宣誓、多様性の中の統一というモットーなど。</p> <p>⑤アメリカ人が祝う祝日を記述し、共有された価値、原理、信念をその祝日がどのように反映しているかを説明できる。例えば7月4日、労働の日、メモリアルデイ、大統領の日、コロンブスの日、感謝祭、ベテランズデイ、マーティン・ルーサー・キング・ジュニアの誕生日。</p>
<p>VOICE 単元 2 単元 3 単元 4 単元 6</p>	<p>D. アメリカ合衆国における多様性の恩恵は何か。</p> <p>1, アメリカ社会の多様性 合衆国の多様性を記述し、そのメリットを識別できる必要がある。</p> <p>◇到達基準</p> <p>①多様性という言葉の意味を説明できる。</p> <p>②合衆国における多様性の共通の形態を識別できる。例えば、民族、人種、宗教、階級、言語、ジェンダー、出身国。</p> <p>③合衆国にはなぜそんなに多くの多様性が存在するのか説明できる。</p> <p>④多様性の利点の幾つかを記述できる。例えば、それは</p> <ul style="list-style-type: none"> ・観点の多様性、新しいアイデア、ものの見方や問題解決の新鮮な方法を育む。 ・芸術、音楽、文学そしてスポーツの複数の選択肢を国民に提供する。 ・自分の以外の文化的伝統や実践を鑑賞することを援助する。 <p>⑤多様性のためのコストを記述できる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・年齢、宗教的信念、人種あるいは能力障害に基づいて他者を不公平に差別することが時にはある。 ・異なる集団の構成員が互いに誤解し、紛争が起こる可能性がある。
<p>Primary 単元 3 VOICE 単元 2</p>	<p>E. 多様性における紛争をどのように防ぎあるいは処理すべきか。</p> <p>1, 紛争の防止と管理 多様性をめぐる紛争を防止し管理する方法を識別し、評価できる必要がある。</p> <p>◇到達基準</p> <p>①多様性によって起こった紛争の事例を識別できる。例えば、人種、民族、宗教、言語及びジェンダーに基礎をおく不公平な差別、ある集団の他からの隔離、他者に信念や習慣を強要する行為など。</p> <p>②多様性における紛争を防ぐことを可能とする以下の方法を評価できる。</p>

	<ul style="list-style-type: none"> 異なる集団間のコミュニケーションを促進する。 共通の信念、関心、目標を明確にする。 学校や地域社会の問題やプロジェクトに共に従事する。 他者の習慣、信念、歴史、問題、希望や夢について学習する。 異なる観点を聞く。 アメリカ人が共有する信念に焦点を当てる。 アメリカ民主主義の価値と原理を堅く守る。 <p>③多様性における紛争を公正に管理することのできる以下の方法について評価することができる。</p> <ul style="list-style-type: none"> 例えば、子ども会、学校委員会、市民協議会、裁判所などで自分自身の観点を表現する機会を与える。 公正で偏らない個人または集団が、紛争のすべての側面について聞き、問題の解決策を提案するように手配する。
<p>VOICE 単元 4 単元 5 単元 6 単元 7</p>	<p>F. アメリカ民主主義の価値と原理を促進するために国民は何を共になし得るか。</p> <p>1, 理想の促進 アメリカ民主主義の価値と原理を促進するために一緒に働くことを可能とする方法を識別することができる必要がある。</p> <p>◇到達基準</p> <p>①以下のことによってアメリカ民主主義の価値と原理をどのように増進させることが可能であるか説明できる。</p> <ul style="list-style-type: none"> 他者の権利の尊重、例えば自分の合意しないことを表現する人に寛容になること。他者のプライバシーを侵害しないこと。人種、エスニシティ、言語、ジェンダー、宗教的信念などを理由に他者を不公平に差別しないこと。 共通の財産を増進することを援助すること。例えば、学校や地域サービスのボランティア、環境の美化 政治への参加、例えば、投票、公的論争問題について熟知すること、立法者への手紙によって法を変革しようと試みることに参加すること。
<p>VOICE 単元 3</p>	<p>III.憲法に基づく政府がアメリカ民主主義の目的・価値・原理をどのように具体化するか。</p> <p>A. アメリカ合衆国憲法はどんなもので、なぜそれが重要か。</p> <p>1, 合衆国憲法の意味と重要性 合衆国憲法とはどんなものか、合衆国憲法がどうして重要なのか、これらを説明することができる必要がある。</p> <p>◇到達基準</p> <p>①合衆国憲法は次のような文書であることを説明できる。</p> <ul style="list-style-type: none"> 政治の基本的な目的は個人の権利を保護し共通の財産を増進させることにあることを述べた文書 政府はどのように組織されるかを記述した文書 <p>②合衆国憲法は、政府は何をすることができ、何をすることができないかを説明することによって政府の権力を制限する文書であることを説明できる。</p> <p>③合衆国憲法は地上における最高の法規であること、つまり、どんな政府も憲法が保障した権利を踏み越える法規はつくることができないということを説明できる。</p> <p>④合衆国憲法は、次のことを信じる人々によって起草されたことを説明できる。</p> <ul style="list-style-type: none"> 政府は人々によって人々のためにつくられる。 政府は国民の奉仕者である。 国民は代表を選ぶ権利を持っている。 国民は政府及び合衆国憲法を変革する権利を持っている。
<p>VOICE 単元 4 単元 5 単元 6</p>	<p>B. 連邦政府は何をするか、また、個人の権利をどのように保護し、公共の利益をどのように促進するか。</p> <p>1, 国家の組織と主要な責任 国家政府が個人の権利を擁護し、公共の利益を増進する方法の事例をあげることができる必要がある。</p> <p>◇到達基準</p> <p>①議会が法律を成立させる目的は次のことであることを説明できる。</p> <ul style="list-style-type: none"> 個人の権利の保護、例えば、宗教の自由、表現の自由、不公平な差別からの自由を守る法律。 共通の財産の増進、例えば、清潔な空気、国立公園、国家の防衛を提供する法律。 <p>②行政部門が法を施行し、強化する目的は次のことであることを説明できる。</p> <ul style="list-style-type: none"> 個人の権利の保護、例えば投票権、教育を受ける機会の平等 共通の財産の増進、例えば、汚染されていない食料や薬品に関する法の強化、清潔な空気に関する法律の強化

	<p>③最高裁判所を筆頭とする司法部門が、法に関する決定を下す意図は次のことであることを説明できる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・個人の権利の保護、例えば公正な裁判を受ける権利、投票権、宗教的信念を實踐する権利。 ・共通の財産の増進、例えば、すべての国民が平等の機会を持つ権利を守る法律の公布。
<p>VOICE 単元 4 単元 5 単元 6 単元 7</p>	<p>C. 州政府の主要な責任は何か。</p> <p>1, 州政府の組織と主要な責任 自分たちの州政府の最も重要な責任について説明できる必要がある。</p> <p>◇到達基準</p> <p>①全国・州政府を識別する。</p> <p>②州政府の各部門の主な責任について記述する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・立法部門－州法を作り、州がどのように税金を費やすだろうか、知事によってなされた任命を承認するか、決定する。 ・行政機関－実行し、州立法院（例えば教育、貧困な子どものためのヘルスケア、魚の保護やゲームを規定する法律）によって作られた法律を執行する。 ・司法府－法律を解釈し、法律に関する紛争を管理する。 <p>③州政府が提供する重要なサービスについて記述する。例えば教育、法の執行、ヘルス・サービス、病院、道、ハイウェイ、公共福祉</p> <p>④州政府職員がどのように選ばれるか説明する。例えば選挙、約束</p> <p>⑤人々が州政府にどのように参加できるか説明する。例えば、通知すること、州問題の議論に参加すること、投票、サービスボランティア、公の事務所を保有すること、管理委員会の委員や権限に仕えること</p> <p>⑥なぜ人々が例えば、権利を保護し、かつ公共の福祉を促進するために州政府に参加することが重要か、職員が力を乱用するのを防ぐために個人の充足を獲得するために地域社会の中の生活の質を改善する説明する。</p> <p>⑦州政府サービスがどのように払われるか説明する、例えば販売に対する、そして個人と事業所得に対する税金、公園そして有料道路、実施料の使用に対する料金</p>
<p>VOICE 単元 4 単元 5 単元 6 単元 7</p>	<p>D. 地方政府の主要な責任は何か。</p> <p>1, 地方政府の組織と主要な責任 自分たちの地方政府の最も重要な責任について説明できる必要がある。</p> <p>◇到達基準</p> <p>○国民、州そして地方自治体の中で識別する。</p> <p>○地方自治体によって一般に主として提供されるサービスについて記述する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・公安（例えば警察、火、道路照明サービス） ・公益事業会社株（例えば水、ガス、電気） ・輸送（例えば通り、ハイウェイ、バス、地下鉄網、空港（湾）） ・教育そしてレクリエーション（例えば学校、図書館、博物館、公園、スポーツ施設） <p>○地方自治体サービスがどのように払われるか説明する。例えば財産、販売、他の税；州と政府からのお金</p> <p>○地方公務員がどのように選ばれるか説明する。例えば選挙、約束</p> <p>○人々が地方自治体にどのように参加できるか説明する。例えば、通知すること、地方の問題の議論に参加すること、投票、サービスボランティア、公の事務所を保有すること、管理委員会の委員や権限に仕えること</p> <p>○なぜ人々が例えば、権利を保護し、かつ促進するために地方自治体に参加することが重要か説明する。職員が力を乱用するのを防ぐために個人の充足を獲得するためにコミュニティの中の生活の質を改善する。</p>
<p>VOICE 単元 4 単元 5</p>	<p>E. 地方、州、連邦政府の立法部門や行政部門においてあなたを代表するのは誰か。</p> <p>1, 政府構成員の識別 地方、州、国家の各政府における立法部門の構成員と行政部門の長を識別できる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・アメリカ人は、公務員と連絡をとる方法を知っている必要がある。 ・立法院（例えば代表、上院議員）の州そして全国レベルで州立法院と議会で彼らを表わす人を指名する。 ・行政府（例えば市長、知事、大統領）で彼らを表わす人を指名する。 ・彼らがどのように代表と連絡をとることができるか説明する。 ・連絡をとるべき政府のどのレベルが彼らの見解を示すか説明する、あるいは特定の問題についての支援を得るために、例えば、犯罪、環境、学校と公園でのレクリエーションの機会、街灯、通りまたは空き地のごみ、野生動物、廃棄された自動車、行方不明者

<p>VOICE 単元 3 単元 4 単元 5 単元 6 単元 7</p>	<p>V. アメリカ民主主義における市民の役割は何か。 A. アメリカ合衆国の市民になるということはどういう意味か。 1, 市民的資質の意味 合衆国における市民的資質の意味について説明できる必要がある。 ◇到達基準 ①合衆国の市民的資質の重要な特徴について説明できる。特に以下の点を。 ・市民とは、国家の法的な構成員と認められた人を意味していること。 ・すべての国民に特定の権利と特権を与えること。例えば投票権や公的な職に就く権利。 ・すべての国民は特定の責任を持つ。例えば、法の尊重、投票、納税、陪審員をつとめる。 ②市民は合衆国に対して忠誠心を持つ。そのかわり政府から保護やその他のサービスを受けるということを説明できる。</p>
<p>VOICE 単元 5</p>	<p>B. 人はどのようにして市民になるか。 1, 市民になること 人はどのようにして合衆国の市民になるのかを説明できる必要がある。 ◇到達基準 ①市民と非市民（外国人）の違いを説明できる。 ②誕生あるいは帰化によって人は市民になることを説明できる。</p>
<p>VOICE 単元 3 単元 4 単元 5 単元 6</p>	<p>C. アメリカ合衆国における重要な権利は何か。 1, 個人の権利 特定の権利は、個人にとって、また民主主義社会にとって、重要なものであるのはどうしてか説明できる必要がある。 ◇到達基準 ①以下のタイプの権利を識別し、それらの重要性を説明できる。 ・個人的な権利。例えば、望む人とは誰とでも交際する権利。自分の選んだ場所に住む権利。自分の選んだ宗教を実践する権利。自由に旅行し合衆国に帰る権利。他国へ移住する権利。 ・政治的な権利。例えば、投票権。言論と政府を批判する権利。政府の政策に影響を与えようとする組織に参加する権利。政党に入党する権利。公的な職業をさがし、それに就く権利。 ・経済的な権利。財産権、職業選択権、職業を変える権利。労働組合に参加する権利。企業を開く権利。 ②例えば、学校での祈祷、雇用、福祉、同じ仕事に対する平等な報酬といった、権利に関する今日の論争問題を識別できる。</p>
<p>Primary 単元 1 単元 2 VOICE 単元 4 単元 5 単元 6</p>	<p>D. アメリカ国民の重要な責任は何か。 1, 個人の責任 特定の責任は、お互いにとって、家族、地域社会、州、国家にとって重要であるのはどうしてかを説明できる必要がある。 ◇到達基準 ①以下のような責任を識別し、その重要性を説明できる。 ・個人的な責任。例えば、互いに世話をすること。自分の行動の結果に対する責任を受容すること。教育を受ける機会を利用すること。家族を支えること。 ・市民としての責任。例えば、法に従うこと。他者の権利の尊重。地域社会の要求をよく知り、注意深くなること。自分たちが選んだ指導者がどのように職務をうまく遂行しているのかについて関心を払うこと。学校、地方政府、州政府、連邦政府の自分たちの代表とコミュニケーションをとること。投票。納税。陪審員をつとめること。軍役につくこと。</p>
<p>Primary 単元 1 単元 2 単元 3 単元 4 VOICE 単元 1 単元 2 単元 3 単元 4 単元 5 単元 6</p>	<p>E. アメリカ民主主義を保持しかつ改善していくためにどのような資質や個人の特性が重要であるか。 1, 市民の効力を豊かなものにし、アメリカ民主主義の健全な機能を増進させる個人の特性 お互いに対して、また、アメリカ民主主義に対して、特定の個人の特性が重要であることを説明できる必要がある。 ◇到達基準 ①以下の個人の特性の重要性を説明できる。 ・個人的責任感。家族に対して、友人に対して、そして地域社会や国家の他者に対して責任を全うすること。 ・自己規律、自己統治。合理的なルールや法に自発的に従うこと。他者に対してはそうすることを強制しないこと。 ・市民性。好き嫌いや、見解が一致するかどうかに関わらず他者に対して敬</p>

<p>単元 7</p>	<p>意を持って接すること。言い争っているときでも他者を侮辱しないこと。 ・他者の個人的権利を尊重すること—自分の見解を保持し示す、他の人々の権利の尊重、政府における発言権への他者の権利の尊重 ・誠実さ—真実を述べること ・法を尊重すること—たとえ一人がすべての法律への完全な合意にないかもしれないけれども、法律に従う意欲 ・開かれた精神—他の視点を考慮する意欲 ・批判的精神—自分自身のものを含む人の様々な立場の真実を質問する傾向 ・交渉と歩み寄り—それが合理的で、道義的に正当な場合に、一つが異なるかもしれない人々との合意に達しようとする意欲 ・持続性—有益なゴールを遂行するために再三試みる意欲 ・公民的精神—人々の地域社会そして国家の安全に対する懸念 ・慈悲—他のものの安全に対する懸念、特にそれほど幸運でないために ・愛国心—アメリカの立憲民主主義の基礎となる価値と法則への忠実</p>
<p>Primary 単元 4 VOICE 単元 1 単元 7</p>	<p>F. アメリカ国民はどのように政治に参加するか。 1, 参加の形態 政府の決定や行動に市民が影響を与えることを可能とする手段を記述できる必要がある。 ・テレビニュース・プログラムを見る、社会問題について読むこと ・社会問題についての議論 ・公務員と通信すること ・投票 ・公共政策と選挙に影響を及ぼすことを試みる利益団体、政党そして他の組織における活発な役割をとること ・所管官庁（例えば市議会「教育委員会」）の会への出席 ・キャンペーンで働くこと ・請願書を回覧し、署名すること ・平和なデモンストレーションに参加すること ・政党、候補者あるいは運動にお金を寄付すること ・個人または決定と行動に影響を及ぼす、地方、州、種族、また政府（例えばメディア、労働組合、P. T. A.、商工会議所、納税者関連（民間の検閲局）を監視するグループを識別する。 ・なぜ地方の政府や州と国立政府を監視することが市民にとって重要か説明する。</p>
<p>Primary 単元 4 VOICE 単元 7</p>	<p>G. 政治的指導性と公共サービスの重要性は何か。 1, 政治的指導性と公共サービス 学校、地域、州及び国家において政治的指導性と公共サービスが重要であることを説明することができる必要がある。 ・政治指導者が何を行うか、またリーダーシップが民主主義国家においてなぜ必要か説明する。 ・自分の教室、学校、地域社会、州そして国家でのリーダーシップそして公共事業の機会を識別する。 ・選ばれたリーダーと協力的に仕事をする個人の重要性について説明する。 ・なぜリーダーシップと公共事業がアメリカの民主主義の継続そして改良にとって重要か説明する。</p>
<p>VOICE 単元 1 単元 5</p>	<p>H. アメリカ国民はどのように指導者を選ぶか。 1, 指導者の選択 学校、地域社会、州及び国家において、指導者を選ぶために有効な規準について説明し、その選択に適用できる必要がある。 ◇到達基準 ①学級委員長、市長、州評議員、部族の議長、合衆国大統領などの、政治的立場に伴う主要な義務、権力、特権、制約について識別できる。 ②指導者が備えるべき以下のような性質について識別できる。（立憲民主主義の価値と原理に対する献身、他者の権利の尊重、他者と協力して仕事をする能力、信頼性や確実性、勇気、誠実、公正である能力、知性、激務へのやる気、特別な知識や技能 ③特定の指導者の役割に求められる資質という視点から候補者の長所と短所を評価することができる。</p>
<p>VOICE 単元 5</p>	<p style="text-align: center;">5－8 内容スタンダード</p> <p>I. 市民生活、政治及び政府とは何か。 A. 市民生活とはどんなものか。政治とはどんなものか。政府とはどんなものか。政府と政治はなぜ必要か。政府が遂行する目的は何か。</p>

	<p>1, 市民生活、政治及び政府の定義 市民生活、政治及び政府という用語の意味を説明できる必要がある。</p> <p>2, 政府の必要性和目的 政府が必要な理由と政府が遂行すべき目的についての諸立場について評価し、自分の立場をとって、その立場を弁護できる必要がある。</p>
VOICE単 元 1 単元 4	<p>B. 制約のある政府と制約のない政府の本質的特徴は何か。</p> <p>1, 制限のある政府と制限のない政府 制限のある政府と制限のない政府の本質的特徴を記述できる必要がある。</p> <p>2, 法の統治 個人の権利や共通の利益を守るためには法の統治が重要であることを説明できる必要がある。</p>
VOICE 単元 3	<p>C. 憲法の本質と目的は何か。</p> <p>1, 「憲法」の概念 「憲法」という用語の様々な使い方について説明することができ、また、憲法を持つ政府と憲法に基づく政府とを区別できる必要がある。</p> <p>2, 憲法の目的と利用 憲法が果たす多様な目的について説明できる必要がある。</p> <p>3, 憲法に基づく政府が繁栄するための条件 憲法に基づく政府が繁栄するための本質的な条件について説明できる必要がある。</p>
VOICE 単元 4 単元 5 単元 6	<p>D. 立憲政府を組織するという以外の方法は何か。</p> <p>1, 権力の分立と行政システム 権力の分立のシステムと行政システムの主要な特徴について、説明できる必要がある。</p> <p>2, 同盟、連邦、連合の各システム 政府の同盟、連邦、連合の各システムの利点と欠点を説明できる必要がある。</p>
VOICE 単元 3	<p>II. アメリカの政治システムの基礎は何か。</p> <p>A. 立憲政府についてのアメリカの理想は何か。</p> <p>1, 立憲政府についてのアメリカの理想 独立宣言、合衆国憲法及びその他の文書の中で表現されている、アメリカの立憲政府についての本質的な理想について説明できる必要がある。</p>
VOICE 単元 7	<p>B. アメリカ社会の顕著な特徴は何か。</p> <p>1, アメリカ社会の顕著な特徴 アメリカ社会を形成した、歴史的経験、地理的・社会的・経済的要因の重要性を識別し、説明できる必要がある。</p> <p>2, アメリカの生活におけるボランティア精神の役割 アメリカ社会におけるボランティア精神の重要性を評価し、自分の立場を取って、その立場を弁護できる必要がある。</p> <p>3, アメリカ社会の多様性 アメリカの生活における多様性の価値とそれに伴う難問について評価し、自分の立場を取って、その立場を弁護できる必要がある。</p> <p>◇到達基準</p> <p>①地域性、言語、人種、宗教、エスニック、社会経済といった、アメリカ社会の多様性の様々な形態について識別できる。</p> <p>②多様性が望ましいものであり、有益なものである理由を説明できる。例えば、選択肢を増やす。様々な見方を育てる。文化的な創造性を促進するなど。</p> <p>③以下のような歴史的事例や現在の事例を使いながら、なぜ多様性から紛争が生じるのかを説明できる。例えば、南北戦争、ネイティブアメリカンの土地、選挙権他の権利をめぐる紛争、19世紀におけるカトリックとプロテスタントの紛争、マイノリティや女性の公民権をめぐる紛争、今日の郊外におけるエスニックの紛争。</p> <p>④多様性における紛争を、個人の権利を尊重し、共通の利益を促進するような平和的な様式で解決することを可能にする方法を評価できる。</p>
VOICE 単元 2 単元 3	<p>C. アメリカの政治文化はどんなものか。</p> <p>1, アメリカ人のアイデンティティ アメリカ社会に対する政治的価値と原理を共有することの重要性を説明できる必要がある。</p> <p>◇到達基準</p> <p>①アメリカ人のアイデンティティは、他のほとんどの国においてアイデンティティを決定づけるようなエスニシティ、人種、宗教、階級、言語、ジェンダー、国家の起源によるというよりむしろ、共有された政治的な価値と原理への</p>

	<p>信念と忠誠から生じているということを説明できる。</p> <p>②独立宣言、合衆国憲法、ゲティスバーグの演説などの文書で述べられているような、アメリカ人が共有している基本的な価値と原理を識別できる。</p> <p>③アメリカ人が、共有された政治的価値と原理を理解し、それに基づいて行動することがなぜ重要であるのかを説明できる。</p> <p>2, アメリカの政治的紛争の特徴 アメリカの政治的紛争の特徴を記述することができ、また、たいていは暴力を防ぎ、感情的に過激になる傾向を弱めるように働く要因について説明できる必要がある。</p> <p>◇到達基準</p> <p>①以下のような合衆国における政治的紛争の歴史と現在を記述できる。 (地理的地方中心主義的利害関心、奴隷や年季奉公的な苦役、国家の起源、専売権の拡大、すべてのアメリカ人への市民的権利の拡大、アメリカ人の公共生活における宗教の役割、戦争への参戦)</p> <p>②南北戦争、労働動乱、公民権運動そしてベトナム反戦運動といった名高い例外をのぞいて合衆国における政治的紛争は他の多くの国よりもより分裂的とはならない理由の幾つかを説明できる。その理由とは以下のようなものが含まれる。(憲法及びその原理に共有された尊重、多様性の中における統一の感覚、政府に影響を与え、またそれに参加する多くの機会、政権を離れる際には権力をよるこんで放棄すること、マイノリティの尊重によって緩和されたマジョリティの統治という考えの受容、紛争を処理するために法システムを積極的に活用すること、土地の有益性と自然資源の豊富さ、相対的に高い生活水準、経済的条件を改善する機会、無償の公共教育の機会)</p>
VOICE 単元 3	<p>D. アメリカの立憲民主主義の基礎にある価値と原理は何か。</p> <p>1, 根本的な価値と原理 アメリカの立憲民主主義の根本的な価値と原理の意味とその重要性について説明することができる必要がある。</p> <p>2, アメリカの政治的・社会的な生活における価値と原理の紛争 紛争の中の根本的価値や原理についての論争問題について評価し、自分の立場を取って、その立場を弁護できる必要がある。</p> <p>3, アメリカの政治的・社会的な生活における理想と現実の不一致 アメリカの理想と現実との不一致をなくしていく方法や手段に関する論争問題を評価し、自分の立場を取って、その立場を弁護することができる必要がある。</p>
VOICE 単元 3 単元 4 単元 5 単元 6	<p>III. 憲法に基づく政府はアメリカ民主主義の目的、価値、原理をどのように具体化するか。</p> <p>A. 合衆国憲法に基づく政府において権力と責任はどのように分配され、共有され、制約を受けているか。</p> <p>1, 連邦政府の権力の分立、分担、制限 連邦政府の権力はどのように分立され、分担され、制限されているかについて説明することができる必要がある。</p> <p>2, 連邦政府と州政府の権力の分担 連邦システムにおいて連邦政府と州政府がどのように権力を分配し分担しているかということ、また、それはなぜかということの説明できる必要がある。</p>
VOICE 単元 4	<p>B. 連邦政府は何を行っているか。</p> <p>1, 内政と外交の政策に対する主要な責任 内政と外交における連邦政府の主要な責任について説明できる必要がある。</p> <p>2, 税金による政府財政 税金の必要性和それを使う目的について説明できる必要がある。</p>
VOICE 単元 3 単元 4 単元 5 単元 6	<p>C. 州と地方の政府はどのように組織され、何を行っているのか。</p> <p>1, 州政府 州が憲法を持つ理由、目的、州憲法と合衆国憲法との関係について説明できる必要がある。</p> <p>2, 州と地方政府の組織と責任 州と地方の政府の組織と主要な責任について記述できる必要がある。</p>
VOICE 単元 4 単元 5	<p>D. 地方、州及び連邦政府においてあなたを代表しているのは誰か。</p> <p>1, 地方、州及び連邦政府の立法部門と行政部門におけるあなたの代表者 地方、州及び連邦政府の立法部門の代表者と行政部門の長を識別できる必要がある。</p>
VOICE 単元 1	<p>E. アメリカの憲法システムにおいて法はどのような位置にあるか。</p> <p>1, アメリカ社会における法の位置</p>

<p>単元 3 単元 4 単元 6</p>	<p>アメリカの憲法システムにおける法の重要性について説明できる必要がある。</p> <p>2, ルールや法を評価する規準 ルールや法を評価する際に有効な規準について説明し、それを評価にできる必要がある。</p> <p>3, 個人の権利の司法による保護 個人の権利の司法による保護に関する今日の論争問題を評価し、自分の立場を取り、その立場を擁護できる必要がある。</p>
<p>VOICE 単元 4 単元 5</p>	<p>F. アメリカの政治システムは参加のための選択肢と機会をどのように提供しているか。</p> <p>1, 公的な会議の議題 公的な会議議題の意味とそれがどのように設定されるのかについて説明できる必要がある。</p> <p>2, 政治的コミュニケーション アメリカの政治生活におけるメディアのについて評価し、自分の立場を取り、その立場を弁護できる必要がある。</p> <p>3, 政党、組織活動、選挙 政党や組織活動や選挙は、政治のプロセスに参加する機会をどのように市民に提供しているかを説明できる必要がある。</p> <p>4, 協議会と集団 利害集団、組合、職業組織は、政治のプロセスに参加する機会をどのように市民に提供しているのかを説明できる必要がある。</p> <p>5, 公共政策の形成と遂行 地方、州、国家のレベルで公共政策がどのように形成され、遂行されるのかを説明することができ、また、そのプロセスにおける個人の役割について説明できる必要がある。</p>
<p>VOICE単 元 3 単元 4 単元 5 単元 6 単元 7</p>	<p>V. アメリカ民主主義における市民の役割は何か。</p> <p>A. 市民的資質とはどんなことか。</p> <p>1, 市民的資質の意味 アメリカの市民的資質の意味について説明できる必要がある。</p> <p>2, 市民になること 人はどのように合衆国の市民になるのかを説明できる必要がある。</p>
<p>VOICE 単元 1 単元 2 単元 3 単元 4 単元 5 単元 6 単元 7</p>	<p>B. 市民の権利は何か。</p> <p>1, 個人的な権利 個人的な権利に伴う論争問題について評価し、自分の立場を取って、その立場を弁護することができる必要がある。</p> <p>2, 政治的権利 政治的な権利に伴う論争問題について評価し、自分の立場を取って、その立場を弁護することができる必要がある。</p> <p>3, 経済的権利 経済的な権利に伴う論争問題について評価し、自分の立場を取って、その立場を弁護することができる必要がある。</p> <p>4, 権利の範囲と制限 権利の適切な範囲と制限に関する論争問題について評価し、自分の立場を取って、その立場を弁護できる必要がある。</p>
<p>VOICE 単元 4 単元 5 単元 6 単元 7</p>	<p>C. 市民の責任は何か。</p> <p>1, 個人的な責任 個人や社会に対する個人的な責任の重要性について評価し、自分の立場を取って、その立場を弁護できる必要がある。</p> <p>2, 市民としての責任 個人や社会に対する公民としての責任について評価し、自分の立場を取って、その立場を弁護することができる必要がある。</p>
<p>VOICE 単元 1 単元 2 単元 3 単元 4 単元 5 単元 6 単元 7</p>	<p>D. アメリカの立憲民主主義を保持し、かつ改善していくためにはどのような資質や個人の特性が重要であるか。</p> <p>1, 市民の効力を増進させ、アメリカの立憲民主主義を健全に機能させるための資質 お互いに対する、またアメリカ民主主義に対する、一定の資質や個人の特性の重要性について評価し、自分の立場を取って、その立場を弁護できる必要がある。</p> <p>E. 市民は市民生活にどのように参加することが可能か。</p> <p>1, 市民的・政治的生活への参加と個人的・公共的目標の達成 市民的及び政治的生活への参加と個人的・公共的目標の達成との関係について説明することができる必要がある。</p>

2, 政治的参加と社会的参加との違い 政治的参加と社会的参加との違いを説明できる必要がある。
3, 政治参加の形態 アメリカ人が政治や政府を監視し、それらに影響を与えることを可能とする手段を記述することができる必要がある。
4, 政治的指導性と公共サービス 立憲立憲民主主義における政治的指導性と公共サービスの重要性について説明することができる必要がある。
5, 知識と参加 アメリカ民主主義において有能性を発揮し責任を持って参加するためには知識が重要であることを説明できる必要がある。

National Standards for Civics and Government k-4 Content Standards, 5-8 Content Standards. 1994 より筆者作成

資料2 表1 “Primary” と “VOICE” の単元構成の類型視点

単元内容		単元展開	法行動概念習得 法的合意形成	法的機能理解 法的意思決定	法的機能理解 法的合意形成	
法 作 動 過 程 (社 会 的 過 程)	法 行 動 の 基 本 概 念	法遵守・逸脱行動 、法使用行動	ルールの概念 P単1-③			
			責任の概念 P単2-④			
		法使用行動 (紛争解決行動)	紛争解決の概 念 P単3-② P単3-④			
		法運動	サービスの概 念 P単4-②			
	法 シ ス テ ム (法 規 範 + 法 機 関)	法規範の発動 (法使用行動)	憲法の人権・ 自由擁護機能		V単3-⑤	V単3-③ V単3-⑥
		法機関の発動 (法使用行動)	立法機関の法 制定機能		V単4-② V単4-④ V単4-⑤	V単4-⑥
			行政機関の治 安維持機能		V単5-⑥ V単5-⑩	V単5-⑧
			司法機関の紛 争解決機能		V単6-③ V単6-④ V単6-⑨	V単6-⑦
	法 行 動	法遵守・逸脱行動 、法使用行動	ルールの社会 統制機能			V単1-② V単1-③ V単1-⑤
		法使用行動 (紛争解決行動)	調停の紛争解 決機能			V単2-③ V単2-④ V単2-⑤ V単2-⑥
		法運動	サービスの社会 改善機能			V単7-①

Pereira, Carolyn. Chilcoat, Kendora Hillman. Farwick, Diane. Eslinger, Mary Vann. Banaszak, Ronald, Sr. Singleton, Laurel R. Eds. *Violence-Prevention Outcomes in Civic Education A Program for Elementary Social Studies*. Constitutional Rights Foundation, Chicago. 1997, 2003.をもとに筆者作成

単元1 よいクラスを作る

レッスン1：私たちのクラスのためのルール（1）

- 目標
- ・特別なクラス活動に適切なルールを考える。
 - ・適用するのに基づいたルールを評価する。
 - ・全てのクラス活動に適用するルールのリストを作成する。

展開

- ・子どもに文集を作成するルールと活動に取り組むためのガイドラインを考案させる。黒

板に子どもの反応をリストする。

- ・活動はいつうるさくて、いつ静かでしたか？
- ・どのように活動していききましたか？
- ・どんなルールが有効になっていましたか？
- ・ルールが有効だったかについて話し合うために文集作成の後、子どもと話し合う。
- ・ルールをチェックして、ルールがどれくらいに有効だったか議論させる。
- ・どんな問題が起こりましたか？
- ・子どもが必要としないルールがありましたか？
- ・これらのルールのうちどれが、あらゆるクラスの活動によいルールですか？
- ・子どもにあらゆるクラス活動に適用できるルールを記録させる。
- ・もう一つのやり方は、旗を製作する活動である。子どもは、旗を作ることに對するルールを開発することができる。

レッスン2：私たちが本当に必要なルール

- 目標**
- ・公正さ、有益性、分かりやすさの基準を適用して、クラスのルールを評価する。
 - ・クラスのルールの最後のまとめを確立するために意思決定プロセスに参加する。
 - ・ルールが協同のプロセスの成果であることを理解する。

展開

- 1
 - ・良いルールと悪いルールに気づかせる。
 - ・誕生日が6月の子どもだけが休憩できるルールは、良いルールですか？
 - ・青いシャツか緑のシャツ以外の子どもが休憩できるルールは良いルールですか？
 - ・子どもは、先生について何も悪いことをいえないルールは良いルールですか？
 - ・ルールは、公平か？ルールを理解するのが簡単か？ルールを強めるのが簡単か？
 - ・人々はルールに従うか？そうしないならば何でもできるか？本当にそのルールを必要とするのか？ルールは問題を解決するのを助けるか？良いクラスをつくるのを助けるか？
- 2
 - ・子どもにどのルールが最も重要なルールであるかについて決めさせる。
- 3
 - ・クラスの誰でも良いものであることに合意することができるルールを決定させる。
 - ・誰でも合意しなければならないので投票とは異なる。
- 4
 - ・いらなかったり、統合されたりするルールはないか考えさせる。
- 5
 - ・両親を合意プロセスに巻き込むことは重要である。
 - ・親がルールに合意しないならば、議論を継続させる。
 - ・ルールのリストは、誰でも関与する簡潔なものでなければならない。
- 6
 - ・教室にルールを掲示させる。クラスによっては、子どもに署名してもらうか、手形を付けさせる。
 - ・実際の文書は、教室の重要な一部になる。子どもは、正確にどこにあるか、どれくらいのルールがリストに載っているかわかっている。
 - ・子どもがルールに従っていない時、誰のルールのもので、誰がこれらのルールに合意したかを思い出させる。

レッスン3：破られたルール

- 目標**
- ・クラスのルールが破られた時の結果について考える。
- ルールは、私たちがお互いに耐えるのを援助する際に重要である。残念なことにルールは時々破られる。私たちがルールが時々不公平で変わる必要があると認める時、ルールを修正する必要がある。ルールが破られるとしばしば、障害が起き、紛争が生じる。

展開

- 1
 - ・A子は先生の言うことをきかなくて、携帯電話で遊び続け、先生に没収される。そして、A子は先生の侮辱的な絵を描いた。
 - ・A子はどんなルールを破ったか？
 - ・このルールの目標は何か？
 - ・誰でも携帯をもってきたら、クラスに何が起こるか？
 - ・A子がルールに従わなかった時、どんな結果が起こるか？
 - ・その結果は公平だったか？
- 2
 - ・どのルールが破られた時に教師やクラスの友達はどのような対応を取るべきかを考えさせる。
 - ・罰則が必要か？なぜ、必要か？

単元2 責任

レッスン1：決められた責任

- 目標**
- ・文学作品で責任の例を探究する。
 - ・クラスの議論で責任の定義を作る。
 - ・子どもたちが責任を果たす方法を考える。

手順

- 1
 - ・黒板に責任を書き、意味を考えさせる。
 - ・文学作品から、責任ある行動をリストさせる。
- 2
 - ・責任についてみんなで定義する。

・その人の行動について責任があること、信頼できる働きをすること、時間通りに活動を完了すること、予想に対処すること、正常なことをすること、正しいことをすること、正しい選択をすること、義務を果たすこと、言われなくても何かをすること。

- 3
- ・学校、自宅、地域社会で責任を果たす方法を考えさせる。
 - ・どんな方法で責任を果たすか？責任があることについてどう思うか？
 - ・どの責任が最も重要か？なぜ、そう思うか？

レッスン2：責任の分類

目標 ・責任について分類し、責任について説明できる。

手順

- 1
- ・プリント2-1を配布して、子どもに読ませる。
 - ・責任ある人はどのような行動をとるのかをシナリオをもとに分類し、責任ある人のタイプを考えさせる。
 - ・自分の行動を認める。信頼できる人になる。不正を変える。他の人を行動へ導く。正しい選択をする。義務を果たす。指示に従う。
- 2
- ・この活動から責任について学んだことをまとめさせる。

プリント2-1：責任のシナリオ

A 自分自身の行動、B 信頼できる人、C 不正を変える、D 他者を行動へ導く、E 正しい選択をする、F 義務を果たす、G 指示に従う、H 言われなくても、やるべきことをする

以下のシナリオを読んでください。そして、それぞれのシナリオが上記のカテゴリーのどれに合うかについて、あなたのグループで合意を図って下さい。あなたの決定の理由を考えて下さい。あなたのグループは、カテゴリーのための複数のシナリオを選ぶかもしれないか、シナリオがどのカテゴリーにも合わないか決定するかもしれません。

- 1 先生が必要と考えるので、かおるは毎晩20分を本を読みます。先生が彼女が読んだということを知らせるために彼女の両親のうちの1人に読書記録シートに署名させます。
- 2 美奈子は、言われることなくモルモットに毎日をえさをあげます。彼女は、友人がしばしば、えさをあげるのを忘れたため、モルモットが死んだので、えさをあげることが重要であるということを知っています。
- 3 有紀は、休憩時間に友達とキックベースボールをしていました。友達があまり遠くにボールをけららないので、有紀は友達をからかいました。友達は怒って違うゲームをすることを決めました。
- 5 岡田くんは鉛筆が必要で友達の手を勝手に借りて返しませんでした。
- 6 時々弟の世話をします。1週何回か食器を洗うことを担当しています。
- 7 グループの人形芝居で使う操り人形を作り終わるために大好きなテレビ番組を見るのを逃しました。
- 8 議論の中でトイレがあまりに学校の割に小さいと話し合いました。トイレには十分なスペースがありませんでした。そして、子どもたちは一列にいつも待たなければなりません。彼らは、トイレを改良することが彼らのプロジェクトであると決めました。彼らは、先生に嘆願書を渡しました。
- 9 地域社会にある「福祉施設」へ食事を手伝えるために両親と月に一度、一緒に行きます。
- 10 母は、リビングルームで気絶しました。他の誰も、家に帰っていませんでした。すぐに救急車を呼びました。そして、救護隊員は助けることができました。

レッスン3：行動における責任

目標 ・ペットの世話と関係している特定の責任を考える。
・ペットを飼育するのに必要な責任を考える。

手順

- 1
- ・自宅にいるかもしれない4種類のペットをブレインストーミングするために子どもをグループに組織させる。
 - ・結果を一緒に共有するためにグループでチャート紙の上で、結果の表を作らせる。
- 2
- ・四つの最も一般的な種類のペットを選び、黒板にそれぞれの名前を書かせる。
 - ・それぞれの種類のペットが健康なままであるために実行されなければならない責任のリストを作成させる。
- 3
- ・子どもに飼っているか、飼いたいと思うペットの絵を描かせる。
 - ・絵の隣にペットが必要とする世話の説明を書かせる。

レッスン4：責任と意思決定

目標

・学校の長期休暇中にクラスのペットを飼育する責任を誰が負う必要があるかを合意して決定する。

手順

- 1
- ・クラスで物語を読み、飼育に失敗したミスを考えさせる。
 - ・結局責任があるということをどのように証明したか？
- 2
- ・これまでにどんな間違いをしたことがあったか、例を挙げさせる。
 - ・これまでに誰かに対する責任があったことの例を挙げさせる。

- 3 ・物語のように学校の長期休暇中にクラスのペットを飼育する責任を誰が負う必要があるかを話し合わせる。
・みんなで合意して、責任の所在を決定させる。

レッスン5：責任とクラス

目標 ・子どもたちは日常での責任を示す機会を考える。

手順

- 1 ・子どもにメンバーとして責任があるか考えさせる。
・どんな責任があるか？ゴミは誰の責任か？
- 2 ・グループで、どんな仕事クラスがうまく機能するために必要かリストする。
・アリやミツバチのような動物の社会でも、それぞれが責任を果たしていることを考えさせる。
・社会の一員として貢献していくために進んで責任を果たせば、社会がよくなることを理解させる。

単元3 紛争解決

導入

紛争は地域社会の生活で自然に起こりうることであり、平和的に紛争を解決する能力は、地域社会のメンバーのための技能である。その技能は、紛争が暴力に拡大するのを防ぐために不可欠である。子どもは紛争を分析し、紛争解決の構成要素として合意形成を図る。

レッスン1：友達の問題

目標

- ・主な登場人物の間での初めの紛争を考える。
- ・登場人物の間でより大きな紛争が起こる行動を考える。
- ・2人の登場人物の間で紛争の解決に至る行動を考える。
- ・どうしたら紛争が解決できるかを考え、文章で短くまとめて報告する。

手順

- 1 ・紛争について2人以上の意見の相違であることを理解させる。
・テスト中にカンニングしたことによる紛争を分析し、第三者が調停することでどのように解決していくかを理解する。
・プリント3-1を配布し、紛争をより悪くするためにクラスで起こる三つの最も重要な行動を書かせる。
・子どもの大好きなテレビ番組の中で起こる紛争を見て、更に悪い状況を作った登場人物の行動や紛争を解決した登場人物の行動をリストし、分析する。

プリント3-1：友達の問題

時々、紛争（けんか）は友人の間で起こります。

- ・紛争は何が原因ですか？
- ・あなたは、どんな他の紛争を見たことがありますか？
- ・紛争をより悪くするには、どんなことをすることですか？
- ・事態をよりよくするために何を行いましたか？
- ・友人と紛争を解決するために何が重要だと考えましたか？

レッスン2：友達の問題2

目標

- ・寛容さと紛争解決について考え、予測し、振り返る。

手順

- 1 ・清潔なA子と不潔B子は、なぜ紛争が起きたのかを考え、2人の似ているところを見つけてお互いを認めていくことで紛争解決できることを理解する。
- 2 ・紛争は、どんな問題を引き起こすかを考える。
・どのように違いを解決できるかを考える。
・どんなアドバイスができるかを考える。

レッスン3：調停しますか、調停しませんか？

目標

- ・調停は、どの紛争でも一番の解決方法ではないことを理解する。
- ・いくつかの仮定の状況を解決する一番よい方法について、批判的に考える。

教材

プリント2-6：調停しますか、調停しませんか？

手順

- 1 ・調停がしばしば論争を解決する優れた方法であっても、必ずしも一番の方法であると限らないことを子どもに話す。
・時々、妥協を見つけようとする代わりに、確立したルールに頼ることは適切である。
・子どもは調停が適切である状況について考える。
- 2 ・プリント2-6を配布する。
・子どもにそれぞれの状況が調停されなければならないかどうかをプリントの隣にイエスかノーを書かせる。
・他の子どもと議論して、決定の理由について考えるように子どもに話す。
・子どもが状況のいずれかにノーで答えるならば、子どもに問題を解決する一番の方法について考えさせる。
- 3 ・それぞれのシナリオの度にクラスを小さなグループに分ける。
・子どもは、答えの理由を議論しなければならなくて、適切な行動について合意に達しよ

うと試みなければならない。

4 ・それぞれのグループは、クラスの他の人に自分たちの決定と理由を提示しなければならない。

- ・子どもが合意に達しないならば、選択すべきものの理由を説明させる。
- ・グループの外から子どもは、グループに賛成するか、反対するかの理由についてコメントさせる。

5 ・それぞれのシナリオのために、このプロセスを繰り返す。

6 ・日記を書く宿題：子どもにグループの決定と、それがうまくいく理由を書かせる。

プリント3-6：調停しますか、調停しませんか？

あなたは、調停が問題を解決する良い方法であるということを知りました。問題を解決することは、必ずしも、最高の方法ではありません。あなたはそれぞれの状況が調停を通して、または、他の方法で解決されなければならないと思うかどうか決めてください。あなたはその状況が調停されるべきと思うならば、その状況のとなりイエスを書いてください。あなたはその状況が他の方法で解決されるべきと思うならば、その状況の隣にノーを書いてください。あなたがノーと決めたならば、どのように問題が解決されるべきかについて考えてください。あなたのグループとともにあなたの理由を議論してください。

1 ・芸術の授業の時にあなたは1枚の紙をもらうために、しばらく机を去ります。あなたは、机の上にああなたのクレヨンを残します。あなたが戻って来るとき、あなたのクレヨンはありません。あなたはあなたの回りの子どもを尋ねます。しかし、誰も彼らがあなたのクレヨンをとったと言いません。

2 ・今日、体育の授業で、あなたはたくさんの異なるゲームをすることができます。あなたはいくつかのボールを使いたいです。しかし、もう一人の子どもは最後のバスケットボールをとります。

3 ・あなたは並んで立っています。そして、あなたの教室を出るために待っています。あなたの後の方にいる人が激しくあなたを押します。そして、あなたは倒れます。

4 ・あなたとあなたの友人が常に昼食に座るテーブルがあります。今日、もう一つのグループの子どもは、すでにそこに座っています、そして、あなたとあなたの友人のための十分な場所がありません。

5 ・あなたは、噴水式水飲み器の線の前の近くにいます。あなたより前にいる何人かの子どもは彼らの友人を呼びかけます。そして、彼らの友人はあなたより前の線の中に割り込みます。

6 ・あなたは1週間前、自転車事故で鼻を怪我しました。そして、あなたの鼻は非常にふくらんで下品な様子です。あなたは、そのように見えるのが残念であると感じます。あなたのクラスの少年は、いつも、あなたの鼻をからかっています。

7 ・年上の子どもは、いつも、彼にああなたの昼食のお金を渡さないならば、あなたに暴行を加えると脅迫します。あなたは、彼にそのお金を渡してしまいました。

単元4：権利

レッスン1：宇宙からの訪問者

目標 ・いくつかの重要な権利についてより深く理解する。

手順

1 ・子どもを4～5のグループに分割する。

・プリント3-3 (宇宙からの訪問者)を見るように子どもに言う。

・冒頭記事を読み、そのとき簡潔に、子どもと一しょにそれぞれのリストされた権利の意味を復習する。

・それぞれの権利を子どもに定義させ、よく知られていない権利を説明するように言う。

・政府機関や政府を支持する行動を起こす人々による妨害から自分たちを保護する権利章典を子どもがしっかり理解できたかチェックする。

・個人の行為者(会社、親、個人)は異なる方法で制限されている。

2 ・子どもに維持したい五つの権利を選択させる。

・五つの権利に合意した時、子どもは、より大きな合意に達しようとするために別のグループに加わる。

3 ・黒板に10の権利をリストして、子どものグループの各権利のランキングをクラスで選挙する。

4 ・教師や弁護士は、どの異なるグループが考えたか知るために子どもと一しょに権利のリストを調べるべきである。

・建設的に、クラスに挑戦させて、交互に全体像を評価するように子どもを激励する。

・理路整然とした議論での子どもの選択や考えを支援する。

注：子どもは、権利のうちいくつかすべてを維持しようとして、他の権利を暗に意味すると主張する。(子どもがよい議論をすることができるなら、これは受理可能である。)

・議論中に、権利がそれぞれ今日意味するものについてよく考えるように子どもに言う。

・新しい支配者が同じ解釈をしているかどうか尋ねる。

5 ・あなたが権利のリストを調べたように、子どもに特定の権利を保つ結果と、失う結果を尋ねる。

・特定の権利の意味を解釈して、これらの権利に伴う責任について解説(または子どもから聞き出す試み)をさせる。

- ・問題に挑戦する導入や新しい情報、関連した物語は、子どもに会話の中で興味を持続させる。
- 6
- ・グループ全てがめったに合意するというわけでないので、子どもに理由についてお互いに向かい合って話をさせることは建設的である。
 - ・たとえば、なぜ、二つのグループは、武器を持って行く権利を維持するために投票し、三つのグループはあきらめたのか？
 - ・他のグループが理解するように、子どもに理由を述べさせる。
 - ・クラス全体の合意があるならば、教師や弁護士は、わざと反対の意見を述べなければならなくて、反対側を論じなければならない。
- 7
- ・子どもに維持するのに選んだそれぞれの権利のための個人の責任のリストを作成するように言う。
- 8
- ・子どもが権利を制限される外国人についてどう思うか、尋ねる。
 - ・イギリスが長年の不干渉の後、植民地開拓者をコントロールしようとしたとき、植民地開拓者が革命の戦争の前にちょうどどのように感じたかについて指摘する。
 - ・権利のために「戦う」ことが重要であるのはいつか、子どもと議論する。
 - ・子どもが可能な経費と利益を考慮することを確実にする。

9

- ・活動に関して子どもに報告を求める。

注：訪れた弁護士は、いくつかの方法でこのレッスンに貢献することができる。弁護士は、子どもによって選ばれた権利から生じた合意に関するクラス議論を導くことができる。弁護士は、また、クラスの決定に反応して、自分の五つの権利の選択を表すことができる。

弁護士は、また、特定の権利の意味を解釈するのを手伝うことができ、子どもによって作られる責任のリストについて解説することができる。

宇宙からの訪問者の活動を行う子どもの間で一般的な返答や誤りがある。万一それらが発生すれば、提案はこれらの状況への対処のために続く。

武器を所有し、携帯する権利

- ・多くの5年生が、この権利を維持しないことを選ぶ。教師は、わざと反対の意見を述べる必要があり、またはこの権利の背景であるいくつかの歴史について説明する。
- ・なぜ創立者はこれを重要な権利と考えたのかを子どもに尋ねる。
- ・今日、この権利の意味に関して存在しているのは、どんな論争か。
- ・この権利は人々を多かれ少なかれ安全にするか。

残酷かつ異常な刑罰から守られる権利

- ・子どもは、しばしば、仲間や親による罰に適用すると考えているこの権利に混乱するようになる。
- ・告発が刑事裁判での合理的疑いを越えて有罪であると証明され、適切に判決が下されるに違いないことを説明する適正手続きにこの権利が関連づけられることは重要である。

出版の自由の権利

- ・子どもは、理解することが困難なこの修正の重要性を見つける。子どもに政府はニュースの発表や形式をコントロールする代案を理解させる。
- ・人々は、政府が読んでもらいたいことだけを読むか、人々は、この権利が言論の自由の権利に含まれていると主張する。

陪審員裁判を受ける権利

- ・公正になると信じる検察当局や弁護士の両方によって質問され、公正であると誓ったグループの人々という、陪審員の定義を復習する。
- ・子どもに陪審員裁判の代案や創立者が裁判官による裁判に疑い深かったかもしれない理由を理解させる。

信教の自由の権利

- ・子どもは、しばしばこの権利を維持する。
- ・政府が宗教を奨励したりしない、邪魔したりしないという、中立のままでいる意味を子どもに気づかせる。
- ・多くの人々が信教の自由のためにアメリカへ来たが、人々は他の宗教に必ずしも寛容だとは限らなかった。

平穏に集会する権利

- ・この権利は頻繁に捨てられる。
- ・報道の自由の権利のように、子どもは、この権利が言論の自由の権利に含まれると主張してもよい。
- ・すべての他のもののように歴史上の状況や考察の代案は、なぜこの権利が権利章典に含まれたかを子どもに理解させる。
- ・集まることができなければ私的に望むものすべてを言わなければならないだろうということを子どもに気づかせる。

プライバシーの権利

- ・子どもはしばしば保持しようとする権利だが、しばしば親、兄弟などからのプライバシーの権利として誤解する。
- ・この権利が単に不当捜査や政府代表による差し押えから個人を保護することを必ず強調する。

自己負罪からの保護

- ・子どもは、自己負罪の用語の説明が必要であり、大変な時期に人々が悪い行動を認めることを強制されてはならない理由を理解させる。
- ・子どもに認めていない犯罪で訴えられていて、自白することを強制されていると子ども自

身に想像させる。

プリント1：宇宙からの訪問者

2020年、あなたは、解決され成功した生活を送っています。特別のニュース速報がテレビ局上に来る時、あなたは、静かに家族とテレビを見ています。非常に奇妙な創造物のように見えるものがスクリーンにいますので、これがニュース速報の正常なタイプではないことを直ちに理解します。よく知られているただ一つのこと、スクリーンが英語で話しているということ、スクリーンは、アメリカでスクリーンとその人々がコミュニケーション・ネットワークのすべてに対するコントロールを獲得しており、誰でも、スクリーンが言わなければならないことに注意を払ったほうがよいとあなたに伝えます。チャンネルを変更します、また、スクリーンは、ちょうど言ったように、スクリーンは、すべてのテレビ局上にあります。スクリーンは、非常に大声で話し始めます。また、スクリーンが何を行うだろうかについて心配し始めているので、家族をまわりに集めます。

そのスピーチは以下のとおりです：

私の名前はシガーです。また、私は、住民がこの惑星の地球上の生き物よりはるかに優れている別の銀河系のノイスティットスノック惑星の出身です。ちょうどアメリカのコミュニケーションに対するコントロールを獲得したように、私たちにはあなたの生活の全部に対する完全なコントロールをとる能力があります。私たちは、惑星とあなたのものとの間の戦争を望みません。しかし、平和やあなたとの調和で暮らすことができるように、私たちはいくつかのものをコントロールしたいです。私たちは、あなたの法律やあなたの政府が作動する方法のうちのいくつかを見て、個人にあまりにも多くの自由を与えるのを見つけました。したがって、私たちは、あなたと私たちの両方が幸福な決定に到着するように調査を行なうつもりです。私が言ったように、私たちはすべてを取り去りたくありません。しかし、私たちは、過去に持っているとともにあなたが生きていることを認めることができません。したがって、私は、あなたに憲法によって持っている権利のリストを与えています。

リストに目を通し、権利のどれがあなたにとってより重要か決定しなければなりません。私たちは、あなたがアメリカ合衆国のすべての人々から最高票を得る五つの権利を維持することを認めるでしょう。五つの権利を選んで、投票の準備をしてください。投票が満場一致でないならば、(すなわち誰も同意しない場合)、満場一致の決定に達するために短い時間が与えられるでしょう。もし、あなたができなければ、これらの自由をすべて失うでしょう。

武器を所有し携帯する権利

言論の自由の権利

弁護される権利

残酷かつ異常な刑罰から守られる権利

出版の自由の権利

陪審員裁判の権利

信教の自由の権利

平穏に集会する権利

プライバシーの権利

自己負罪からの保護

※必要な概念

ルール、法

- ・ クラスのルールをどうするか
- ・ 防犯ベルは、なぜ、身につけなければならないのか？
- ・ ゴミ置き場を
- ・ 旗上げ当番を決めるには、どうしたら公平か

責任

- ・ クラスの係や委員会仕事の役割

紛争解決

- ・ 友達とのけんか
- ・ 約束やぶり
- ・ ゲームの貸し借り

自由

- ・ シャープを自由に使ってよいかどうか

権威

権利

プライバシー

正義 (公正・公平)

裁判